熊本地震における町議会の対応③

町と定期的に意見・情報交換を行い、協力して事態の改善を図っています。

■11月18日（金）　臨時会終了後　全員協議会

①農業委員会等に関する法律の一部改正に伴う農業委員会制度改革について

②大津町運動公園（総合体育館）の災害復旧等について

③新庁舎建設計画及び旧庁舎解体計画について

④町道（三吉原北出口線、新小屋桜山線）の舗装修繕について

■12月９日（金）　本会議終了後　全員協議会

①大津町復旧復興計画について

■12月21日（水）13時30分　全員協議会

①一部損壊世帯への支援について

②雷被害による総合体育館空調設備等修理について

議会活性化特別委員会

平成25年２月の改選後、同年６月に設置された議会活性化特別委員会は、平成27年度までに11回の委員会を開催しました。（残念ながら平成28年度は熊本地震の影響もあり活動を中断しました。）

主な取り組みとして、改選前の議会活性化調査研究特別委員会から引き継いだ、通年議会の導入や議会報告会・懇談会の開催などの５項目の課題と、改選後に新たに課題とした12項目（議会基本条例の制定、議会モニターの設置、政務活動費の導入など）について審議しました。委員間の意見の相違が極めて大きく、継続して議論することになったものも多くありますが、早期の実現を目指して重点的に取り組んだのとしては、平成26年から開催している「議会報告会（H26・5・11）」「休日議会（H27・6・13～14）」「町民と議会の意見交換会（H27・11・3）」などです、H28年度は「区長との懇談会」を予定していましたが、震災により中止を余儀なくされました。

継続審議とした課題は、改選後に引き継ぐこととしています。

新庁舎建設特別委員会

新庁舎建設計画を問う。

質問　起債の利率について予算書で５％以内となっているが利率０％の民間資金の利用は。

回答　災害復旧関係の起債については、財務局からの借入で普通交付税算入の関係から利率０％にはならない。

質問　庁舎の解体、建築までゼネコン一社に任せた方がコンサルを入れるよりも安価で短期間に完成するのでは。

回答　基本構想で町の考えを整理する必要があり旧庁舎は現状のままでは危険な状態であるため解体をいそぎ進めていく。計画策定する場合何社か見積りの予定は。

回答　予算積算の見積りは数社から徴収している。

質問　庁舎の規模と機能。

回答　現時点では未定で、基本構想の中で考えていく。

質問　庁舎ＵＲ（都市再生機構）に依頼は。

回答　総合体育館は建設時にＵＲで施工し、災害復旧でも依頼したが、庁舎は違う。

質問　仮設倉庫はどこに建てるのか。

回答　老人福祉センター南側の土地で北側に書庫、南側を駐車場として計画している。

質問　庁舎解体時に杭抜きはしないのか。再度同じ場所に建設する場合、杭はそのままなのか。

回答　杭抜きに５０００万円程度かかるので、杭は抜かない。同所に建設する場合は抜く必要がある。